

ガーナでお絵描き
くれよん プロジェクト 63号

コロナの影響で学校スケジュールも大きく変わり、現在6年生から中学生までがスクールバケーションに入っている学校ですが、登校してくる生徒数は減っても活気があります。今2学期は8月の第1週まであるので、まだまだクレヨンを使った授業は出来そうなので楽しみです。今回は、トイレトペーパーの芯でロケットづくりをしました。こうした工作の授業は「どうして?」「なんでなんだろう?」「というサイエンスの要素も含まれていきます。そうした考えることにつながれば良いかと毎回思いながら実践しています。とは言っても前回の「こいのぼりだこ」同様につつならそれで遊ぶのが一番楽しいですね。もちろんそれまでの過程も子どもたちには楽しいようです。トイレトペーパーの芯にクレヨンで色を塗り、先端には丸めた新聞紙を詰め、おしり部分をハサミで少し切り込みを入れそこを折り曲げるだけで飛距離が長く、弧を描くように飛ぶロケットを飛ばす度に子どもたちの歓声が上がりました。

報告日 2021年6月19日

TOSHIKOKOKUBU



ロケット作りは、4年生と5年生が行ないました。中段4年生、下段5年生。遊びの中に学びがある。これからも多く取り入れていきたい授業です。



協賛 ペンてる株式会社様(ずこクレヨン)